

第2期
本別町まち・ひと・しごと創生
総合戦略
(進捗状況(中間実績)報告)

令和5年(2023年)7月
北海道本別町

基本目標 1 元気な産業をつくり安心して働けるようにする

地域を支える担い手を確保する取り組みを推進し、地域産業の持続・発展を支えるとともに、創業・起業の促進や地域企業の新規雇用者の創出を後押し、地域産業の活性化につなげます。

数値目標	新規就農および新規就業者数 ※支援制度利用・窓口サポートによる	目標値	(R3～R7 累計) 142人	実績値	(R4 まで) 37人
	町内事業所数 ※商工会調べによる		(R7) 361事業所		(R4 時点) 347事業所

施策 1-1 地域を支える担い手確保と人材育成の推進

- ・新農業人フェアや移住フェアへの参加
- ・本別町担い手受入れ協議会運営サポート
- ・農業振興人材の育成
- ・新規就農者等支援（農業振興基金事業）
- ・介護職員等資格取得・研修支援
- ・ほんべつ福祉セミナー実施
- ・介護職員初任者研修の開催
- ・介護従事者就業支援等の実施
- ・しごと体験交流館活用



KPI（重要業績評価指標）	目標値	実績値（中間）
支援制度や施設利用者のうち本町への就業人数	100人（5か年累計）	33人（R4 まで累計）

施策 1-2 起業および地域雇用の促進

- ・起業家支援の奨励
- ・新規採用を行う事業者や就業者への支援
- ・地域内求人情報の発信



KPI（重要業績評価指標）	目標値	実績値（中間）
起業および新規採用者数（支援制度利用者）	42人（5か年累計）	4人（R4 まで累計）

(総括)

時間的な進捗が40%（5か年計画の2年目）の時点で、本町への就業人数では33%、起業・新規採用者数では10%の達成率となっている。

令和3～4年度にかけては、新型コロナウイルス感染症により人流が停滞したことによる影響があったと考えられる。

新規採用者数の達成率が低いが、移住定住支援事業が令和4年度開始ということもあり、新型コロナウイルス感染症の分類変更による人流増も踏まえ、制度の周知、活用を進めていく。

事業所数は目標以上の減少率となっていることから、関係機関と連携した事業継続へ向けた様々な支援策と新規事業者参入の取り組みを検討していく。

基本目標 2 本別への新しい人の流れをつくる

本町の観光交流拠点や観光資源の魅力を高め、本町と多様に関わる関係人口を創出・拡大させるとともに移住を促進します。

数値目標	移住者数	目標値	(R3~R7 累計) 60人	実績値	(R4 まで) 23人
	観光入込数	目標値	(R7) 58万人	実績値	(R4) 481,691人

施策 2-1 観光入込拠点の整備や地域イベント等による本別の発信

- ・本別公園の魅力創出と発信
- ・道の駅施設環境整備および運営支援
- ・きらめきタウンフェスティバル実施
- ・地域イベントへの支援
- ・本別ならではの食の推進



KPI (重要業績評価指標)	目標値	実績値 (中間)
本別公園および道の駅への入込数	55万人 (R7)	434,005人 (R4)

施策 2-2 移住・定住の促進

- ・移住フェア参加やセミナー開催
- ・お試し暮らし住宅やお試し就業の提供
- ・東北部移住サポートセンターなどの関係機関との連携
- ・移住者への支援制度の創設
- ・UIJターンの促進



KPI (重要業績評価指標)	目標値	実績値 (中間)
移住希望者の来町者数	46人 (R7)	28人 (R4)

施策 2-3 関係人口の創出

- ・個性あるふるさとづくり寄付事業（ふるさと納税）の推進
- ・ワーケーションの推進
- ・地域おこし協力隊の活用
- ・本町と関係する地域との交流連携事業の推進



KPI (重要業績評価指標)	目標値	実績値 (中間)
個性あるふるさとづくり寄付額	100,000千円 (R7)	100,759千円 (R4)

(総括)

人流に関しては新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止等で大きな影響があった。

観光入込数は、基準値とした令和元年度実績に比べ、令和3年度で約25%の減、令和4年度で約10%の減、移住希望者の来町者数も令和3年度で令和元年度比約75%の減、令和4年度で約25%の減となっている。本別公園の遊具整備などサービス提供機能の拡大やイベントの再開により今後の観光客数増を期待する。

ふるさと納税は、ポータルサイトの活用や魅力ある返礼品づくり等により、令和4年度時点で目標値である年間1億円を達成した。今後も新たな返礼品づくりやリピーターの確保を進め、寄付額を維持していく。

基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若い世代が、結婚・出産・子育てに希望を持てる地域の実現を目指し、子育てしやすい環境を充実させます。

数値目標	合計特殊出生率	目標値	(R7) 1.88	実績値	※中間年統計データなし

施策 3-1 若い世代の出会いと交流の機会の創出

地域内における若者コミュニティの醸成や多様な主体による婚活イベント開催の支援により出会いと交流の機会を創出します。

- ・ 農業後継者の配偶者対策の推進
(グリーンサポートセンター事業)
- ・ 民間等が実施する交流イベント支援
- ・ 若者の輪創造プロジェクトの実施



KPI (重要業績評価指標)	目標値	実績値 (中間)
交流イベントへの参加のべ人数	600人 (5か年累計)	57人 (R4まで累計)

施策 3-2 出産・子育て支援の充実

本別で子どもを育てたいという人への応援施策を展開します。

- ・ 不妊治療費助成
- ・ 不育症治療費助成
- ・ 妊産婦への支援
- ・ 産後ケアの推進
- ・ 子育て世帯の経済的負担の軽減
(在宅育児支援事業・保育料の軽減事業)
- ・ 乳幼児等医療費助成
- ・ 多子世帯に対する給食費の無料化



KPI (重要業績評価指標)	目標値	実績値 (中間)
出生数 (3か年平均/1月~12月基準)	30人 (R7)	33人 (R4単年)

(総括)

新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント開催が自粛・中止されていたことから交流イベントへの参加者数の達成率は9.5%にとどまっている。

出生数は令和2年以降30人台を維持しており令和4年で33人となった。今後も出産・子育て支援に関する各種施策の継続・拡充を図り、産み育てやすい地域づくりを進めていく。

基本目標 4 安心して暮らせる地域をつくる

高齢化の進展により、本町での生活に必要な交通手段の維持確保に努めるとともに、近年関心が高まっている災害への対策など、安心して暮らせる環境づくりを進めます。

数値目標	本別町に住み続けたいと思う人の割合 ※町民アンケートによる	目標値	(R7) 85%	実績値	※中間年統計 データなし
	人口の社会増減数 ※1月～12月/年基準	目標値	(R7) △37人	実績値	(R3) △93人

施策 4-1 公共交通の維持確保

地域住民の足として暮らしを支える公共交通の維持・確保に努めていきます。

- ・町有バス等の安定的運行や町内交通体系の整備
- ・本別浦幌生活維持路線の運行
- ・帯広陸別線の運行維持確保



KPI (重要業績評価指標)	目標値	実績値 (中間)
道の駅を発着するバスの便数	40便 (R7)	40便 (R4)

施策 4-2 防災対策および地域コミュニティ活動の推進

町民と共に地域の防災に取り組み、災害に強いまちづくりを推進し、町民が自主的かつ主体的に行う自治活動を支援します。

- ・各種防災訓練の実施
- ・防災教育の推進
- ・防災資機材等の整備
- ・自治活動等の支援



KPI (重要業績評価指標)	目標値	実績値 (中間)
町内における防災訓練実施回数 (自治会、各種団体、学校等)	80回 (5か年累計)	10回 (R4まで累計)

(総括)

バス便数は維持されているものの、新型コロナウイルス感染症による外出控えや高齢者に対するハイヤー利用券交付事業との競合により利用者数は年々減少している。

バス事業者における運転手確保も課題となっており、他地域で導入されているデジタル技術の活用による利用時間・区間等予約システムの導入や自動運転バス等、新たなサービス提供方式の調査・検討を進めていく。

防災訓練は、新型コロナウイルス感染症の影響で集団での活動が停滞していたことにより、実施回数は目標の12.5%にとどまっている。